

陸産貝類の移動について

平成29年12月

沖縄防衛局

1. 陸産貝類の分布状況について

- 平成26年度夏季から平成28年度冬季にかけ実施した、移動対象種6種の分布状況の調査結果は下図のとおり。
- 本年5月、「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第3版 動物編」（以下「沖縄県RDB改訂」という。）が公表され、スジイリオキナワギセル及びパンダナマイマイの2種が追加されたが、過去の調査では調査対象種としていないことから分布状況は不明。

リュウキュウゴマガイ

※重要な種の保護の観点から表示していません。

ノミガイ

※重要な種の保護の観点から表示していません。

サカツキノミギセル

※重要な種の保護の観点から表示していません。

オキナワヤマタカマイマイ

※重要な種の保護の観点から表示していません。

ウロコケマイマイ

※重要な種の保護の観点から表示していません。

トウガタホソマイマイ

※重要な種の保護の観点から表示していません。



リュウキュウゴマガイ



ノミガイ



パンダナマイマイ

移動対象種 8 種は、樹木とその落葉に生息することから、今後樹木の伐採を伴う改変を行う場合には、当該改変箇所の調査を行い、確認された場合には移動措置を講じるものとする。

2. 陸産貝類の移動先候補地について

- 移動先候補地については、①移動対象種が生息、②移動元と類似の生息環境条件が存在、③改変区域からの一定距離の離隔がある、④アクセス性、⑤生息環境の広さの観点で評価し、候補地の中から移動元からの近接性に基づき移動先を選定。



図-1: 樹林性及び湿地性の対象種の移動先

3. 陸産貝類の捕獲方法及び移動方法について

- 移動対象種の生態的特性を整理の上、当該生態的特性及び専門家の指導・助言を踏まえた捕獲方法及び移動方法については、以下に示すとおり。

No.	種名	生息環境	移動先の候補	捕獲方法	移動方法
1	リュウキュウゴマガイ	森林の落葉の下	※重要な種の保護の観点から表示していません。	落葉下等の見つけ採りや、生息密度を計数の上、生息基盤ごと捕獲	落葉が林床に比較的厚く堆積し、湿度が保たれているような環境で、生息基盤である落葉下等に移動、又は落葉等の生息基盤ごと移動。
2	ノミガイ	主に海岸林の葉の裏や落葉の下		生息密度を計数の上、生息基盤ごと捕獲	林縁部に落葉等の生息基盤ごと移動。
3	サカヅキノミギセル	朽ちた倒木下や落ち葉で覆われた乾燥した地表面		倒木下等の見つけ採り	生息基盤である倒木等に移動。倒木に移動の際には、倒木の腐食状態(ノミギセル類は、腐食が進んで軟らかな倒木より、倒れて間もない状態のものを好む)の確認が必要。
4	スジイリオキナワギセル	良好な森林環境		樹幹等の見つけ採り	移動先でできるだけ太く、幹にうろや裂け目等の隠れるための空間がある木の樹幹に移動。
5	オキナワヤマトカマイマイ	樹木にすみ、幹や枝、葉の裏に付着		樹幹等の見つけ採り	移動元での確認状況を基に、移動先でも可能な限り同じような環境に移動(本種はイヌビワ類、空間のある礫場や岩盤を好む)。
6	ウロコケマイマイ	林床の倒木下や落葉下		落葉下等の見つけ採り	落葉が林床に比較的厚く堆積し、湿度が保たれているような環境で、生息基盤である落葉下等に移動。
7	パンダナマイマイ	森林から平地部の落葉や石の下		見つけ採り	開けた環境の草地や落葉の上等に移動。
8	トウガタホソマイマイ	森林の林縁の落葉の下		クワズイモ葉茎や落葉下等の見つけ採り	林縁部の生息基盤であるクワズイモ等の周囲に移動。